

麻生区区民会議 第3回専門部会『(仮称)麻生区の魅力発掘・発信検討部会』議事要旨

- 1 開催日時：平成29年2月14日（火）午後3時～午後5時10分
- 2 開催場所：麻生区役所 第4会議室
- 3 出席者：[専門部会委員] 安藤和彦委員、石井よし子委員、菅野明委員、鈴木昭弘委員、高倉秀敏委員（副部会長）、長岡さや委員、橋本周委員、林恵美委員（部会長、全体会副委員長）、松田基久乃委員、吉垣君子委員
[事務局] 企画課 井上課長、福島係長、佐藤
[コンサルタント] 中島、永野
- 4 傍聴者：0名
- 5 議 題：
 1. 企画部会からの報告について
 - ・林部会長より第2回企画部会の内容が報告された。
 2. 調査・審議課題の検討について
 - (1) 前回部会の振り返りについて
 - ・前回の議事確認のため、前回部会の内容を振り返った。
 - ・事務局より、麻生区内の空き家に関する説明がなされた。
 - ・長岡委員より、「しんゆり・オリーブまつり まちづくりアンケート 集計結果」に関する補足説明がなされた。
 - (2) 麻生区の魅力について
 - 1) 麻生区の魅力
 - ・麻生区の魅力についてワークショップ形式による整理を行った。
 - ・出された魅力の概要は以下の通りである（出された魅力の詳細は別紙参照のこと）。
 - 地場野菜、麻生区の特産品、原風景が残存
 - 芸術に触れあえる町
 - 市民活動が盛ん、元気なシニアが多い、安全・安心な町
 - 良質な住環境、子育てしやすい環境、良質な景観
 - 大学が多く若者が多い
 - 魅力的なお店が多い
 - 都心へのアクセスが良い

2) 魅力を発信する目的、対象

- ・区民に麻生区をもっと好きになってもらうことで麻生区にふるさととしての魅力を感じてもらうことが目的であると確認された。
- ・区民に好きになってもらう→区民によるまちづくり→区民による区外への魅力の発信→ふるさとになる麻生づくりというイメージについて一定の共有がなされた。
- ・対象については子育て世代を中心に発信することとなった。
- ・その際の主な意見は以下の通りである。

【主な意見】

- ・転入者が麻生をふるさとにできる取組みが必要である。
- ・子育て世代に伝われば、子どもとの活動を通してシニアの参加も促進される。
- ・子育て世代を対象とするのであれば、芸術や自然が切り口としてわかりやすいのではないか。

3) 審議テーマについて

- ・決定した審議テーマ

「ふるさと麻生づくり～愛着と誇りの醸成～」

- ・麻生区に故郷としての魅力を感じてもらおうという方向性は共通していたため、テーマの表現について以下のような意見が出された。

【主な意見】

- ・「つくる」という表現に違和感を覚えるので、「ふるさと麻生を目指して」ではどうか。
- ・「ふるさとになる麻生づくり」だと、「になる」という表現が昔から住んでいる人にとっては馴染まないと思う。
- ・いろいろと意見が出ているが、簡潔に「ふるさと麻生」や「ふるさと麻生づくり」で良いのではないか。
- ・シビックプライドの醸成という概念があるため、「愛着と誇りの醸成」という副題を付けるのはどうか。

4) 第3回全体会資料の確認について

- ・第3回全体会資料についての説明、確認が行われた。その内容は以下の通りである。
- ・資料については、1. 審議の経過、2. 魅力の発信について、3. 審議テーマ、4. 今後の進め方の構成とする。
- ・1～3に関しては、本日までの議論で埋まっている。
- ・4. 今後の進め方については、魅力の発信方法、PRの主体や組織について議論していくという流れになる。

2. その他

- ・全体会への報告内容・資料については、林部会長、高倉副部会長、事務局にて作成後、部会員へ送付し、確認することとし、3月14日（火）の部会は開催しないこととなった。